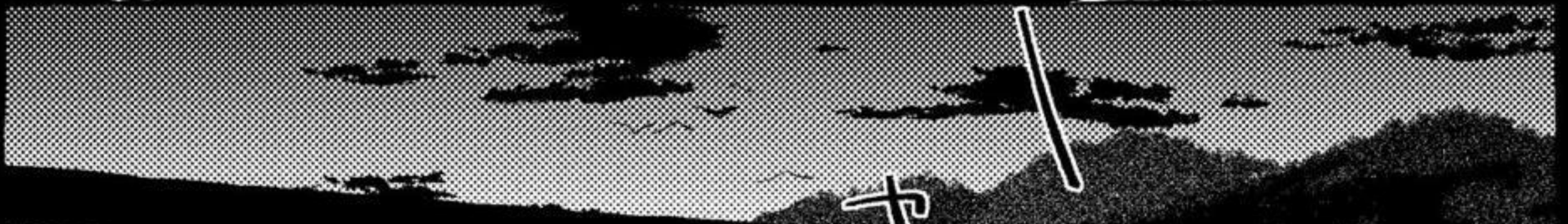

そあ い
だ な ど
て た し
か の い
ね

TokenRanbu Fanbook
Chougi × Kunihiro
R-18





+

+

+

—あの…

おどろ…

ほんか…
おこつて
いるのか…？

しゅっ

はま…

分かってるなら
怒られないように
行動してくれないかな



ムン……

嘘だよ

ズバ
そんなもの
いるわけ
ないだろう

だ、だが
にじいろの
さかなを
みせてくれると
木の精が……

……

いいかい
国広





お前の好奇心が
悪いとは
言わないけれど

しゅいっ
しゅいっ



だから
お前に呪いを
かけてあげよう

まじない？



生まれたての
神はとても脆く
悪意に弱い

…お前のようにね



そう
俺がお前を
言霊で
守ってあげる

…俺の後に
続いて
言っでごらん

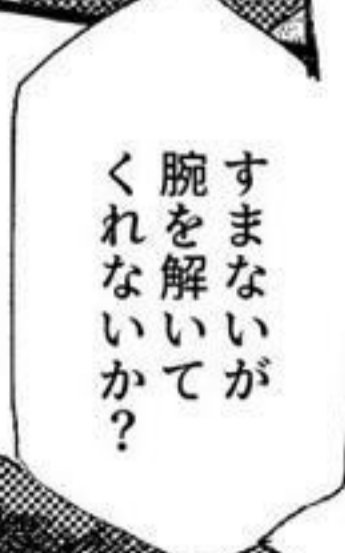
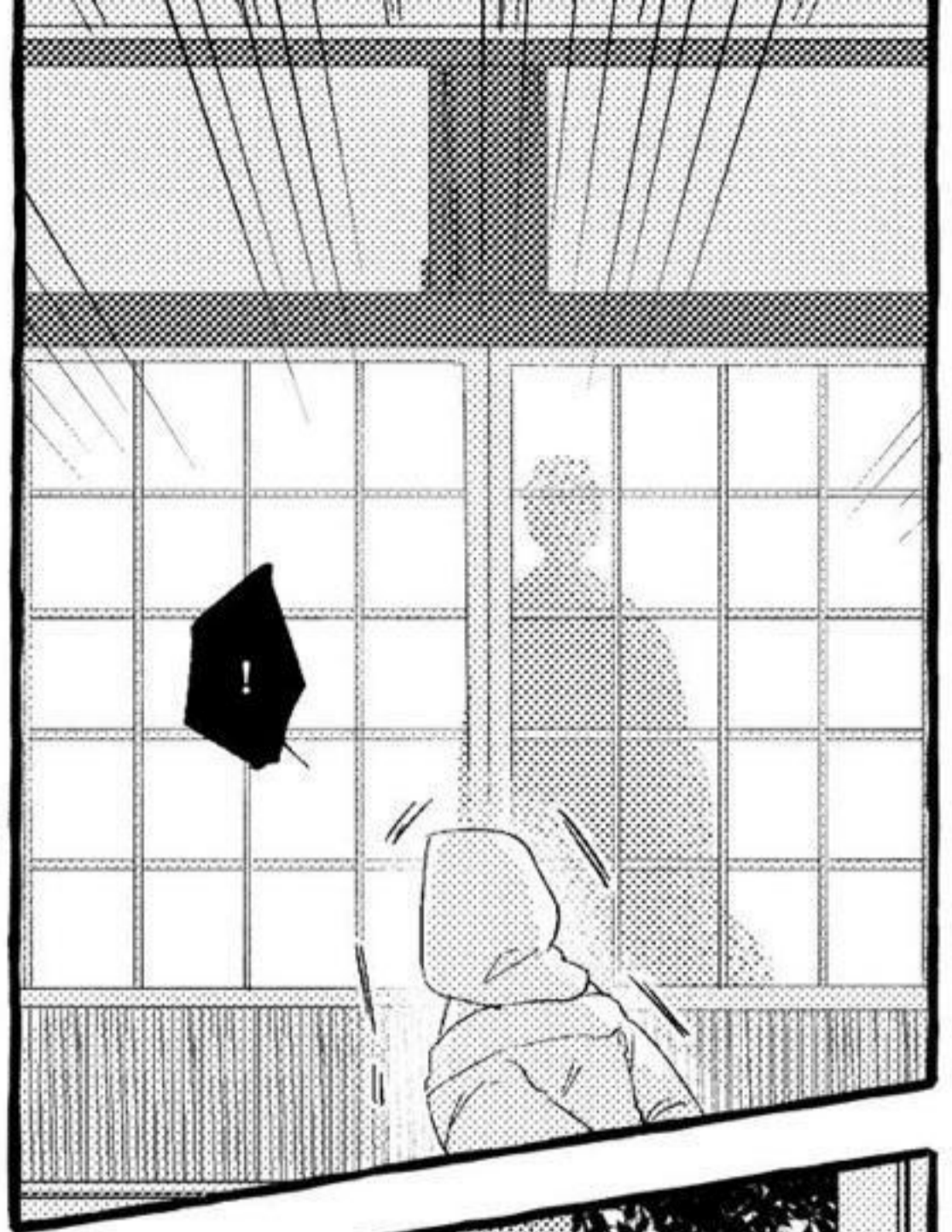
うん!

懐かしい夢を見た

まだ母も何も
俺達を
阻むものがなく

彼と共に永遠に
在り続けられると
信じていた頃のことだ





目・を・醒・ます・の・が
早・か・っ・た・ね

随分と

山姥切

…は？

ここは
俺の神域だ

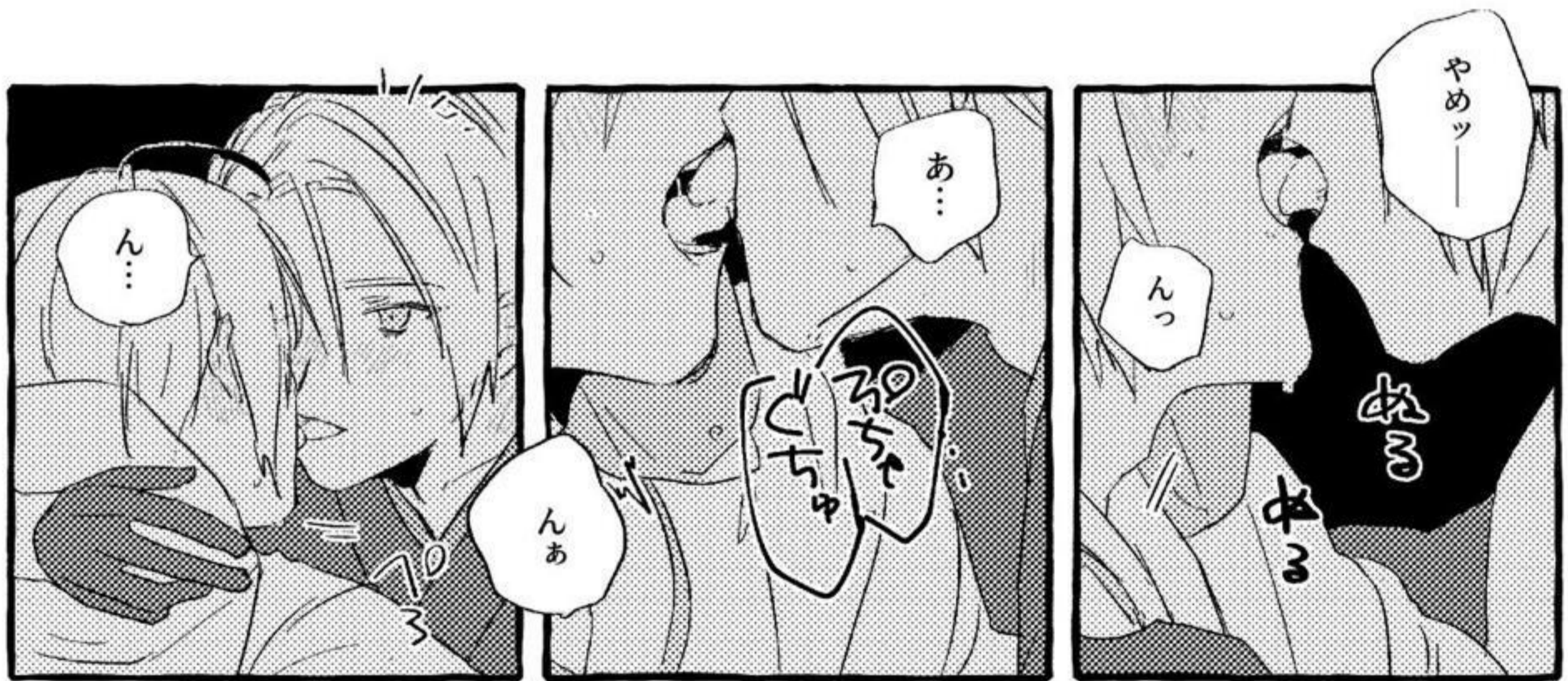
何故
こんな…
俺達の本分は
歴史を守るために
戦うことだろう

神域…

部外者であるお前
一振りでは
自力で出られない

—あんたが俺を
憎んでいるのは
知っているが…
本丸に帰して
くれないか

……





やっ...
やまんばぎり

んう...!

やめっ...



うあ...



うあ...



トキ



お女

お女

...



お女、お女、お女



着物が
纏わりつく……

地を蹴る
足が重い……

……本科はここが
彼の神域だと
言っていた

本科の弱点さえ
分かれば
ここから
出られるはずだ

だが

肝心の本科の
弱点は
何だ……？

ククク

おま

おま





捕まえた



なっ、離せ!!
やめろ!!

大人しく
してなよ



山姥切…

鬼ごっこは
楽しかったかな







痛みなんて
与えて
やらないから



……



しゅん
しゅん



…国広

んむっ

う…



んっ

うっ

う

しゅん
しゅん
しゅん

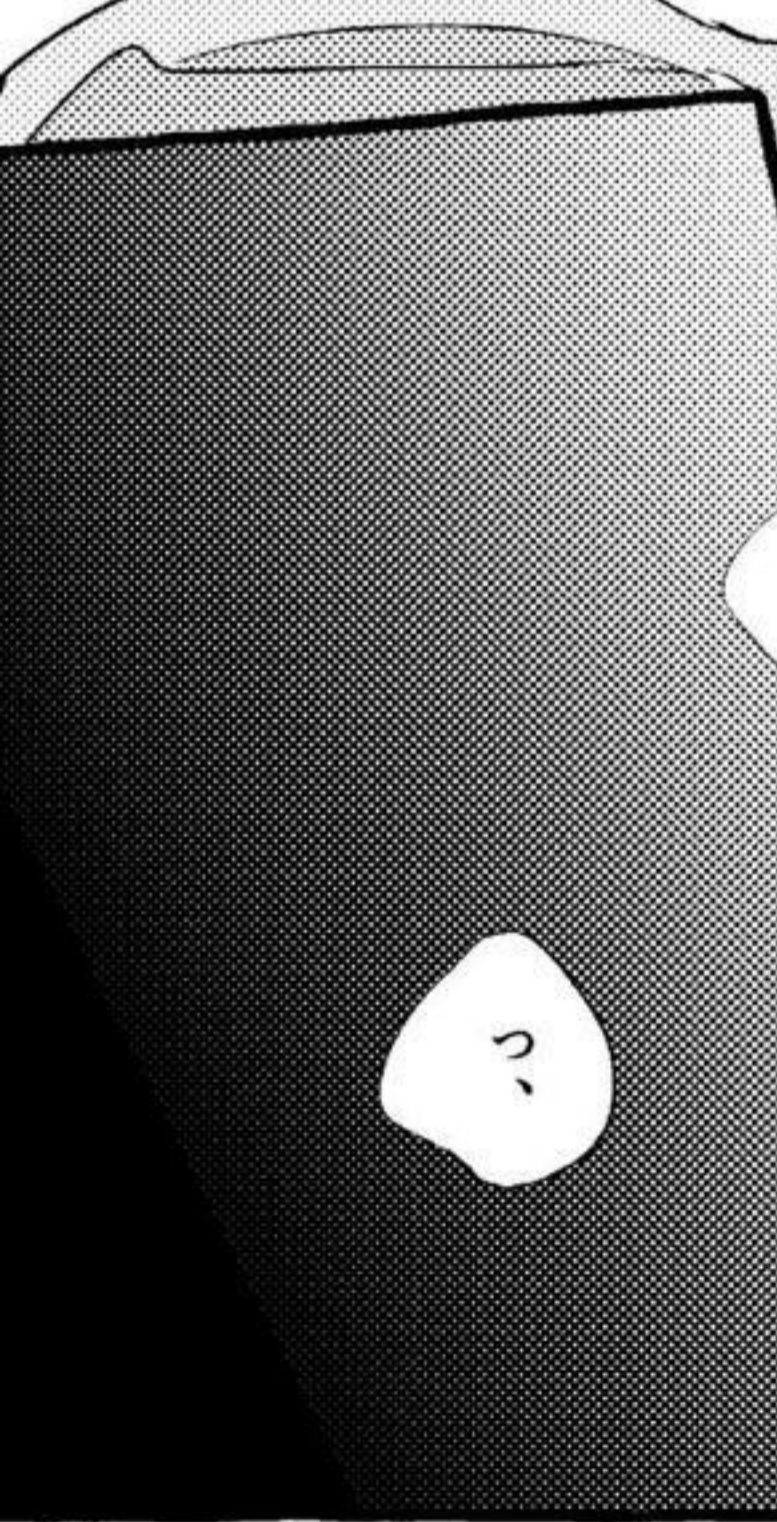




叩かれて
甘イキした？

ちがっ...

気持ちいい事なんて
何も知らない顔して
淫乱だね



...それとも
才能かな

あ...





S...

いやだ...

やだ



...そんな俺にされるのが嫌？

いや...

やめてくれ

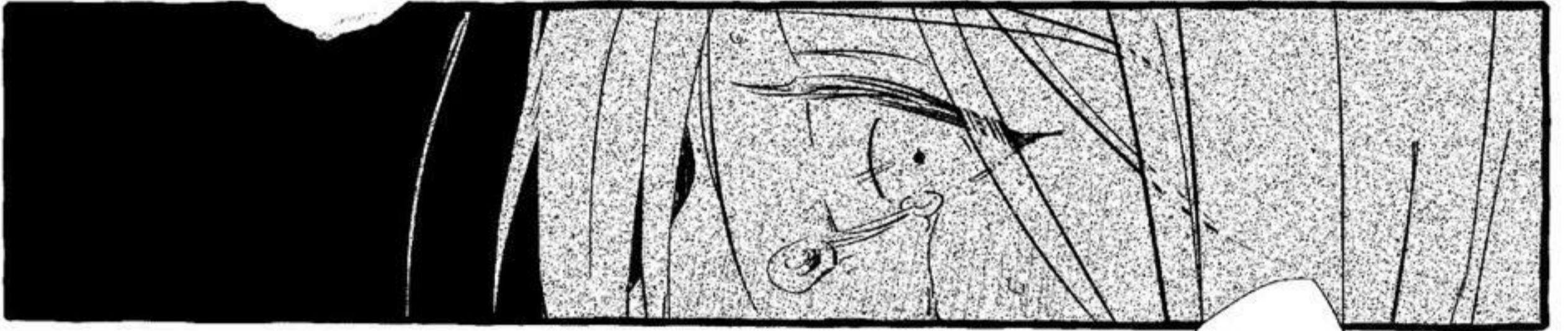
ふっ

ふっ



…お前は

俺の
ものだろう



え…



山姥切

それは
どういう…

ちゅ

ん

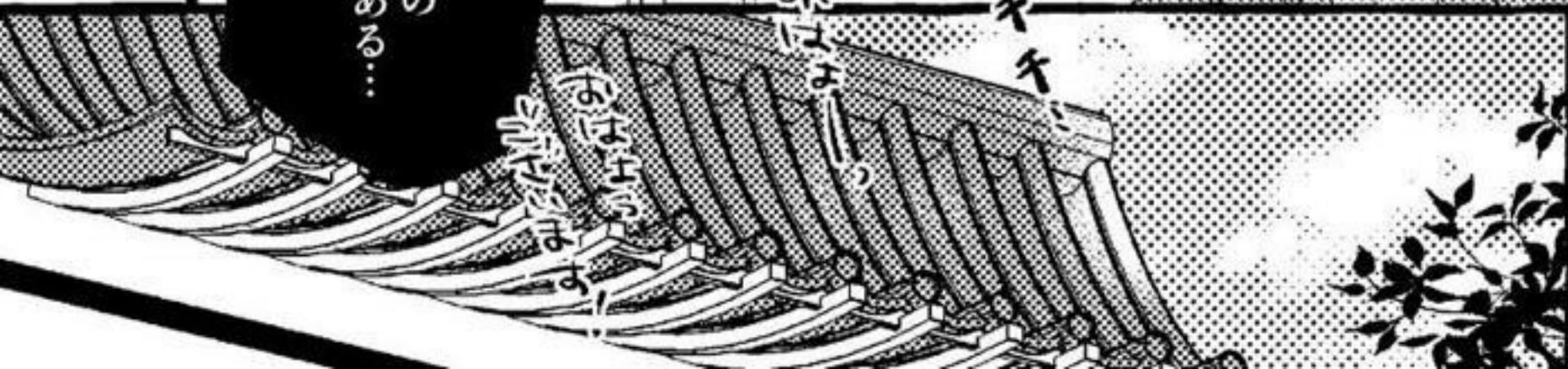


ん

ん



山姥切っ!!



他の刃の
気配がある...





本科に

ええ、なんだよ

あ、兄弟、
言僕と
おんなじだよ



慣れ
ないな...



お前は
俺のもの
だろう

...あの
言葉の意味を
確認しなければ



山姥切!

え



あの



山姥切!

あのだ
待って
くれ

山姥切...

ズラズラ...



極めて
すぐの身が
憎い…

……全ツツツツ然
追いつかない…

鍛錬が
足らないのか？

このままでは
いつまでも
話せないままだ…



こうなれば……



あの…

お邪魔している



……



ひとが不在の間に
上がりこむなんて
良い趣味してるね

すまない…

分かっているなら
さっさと部屋に帰れ

嫌だ

お前
馬鹿なの？



しほりん

そ…そうか…

その…

あんたとどうしても
話したくて…
なかなかあんたは
捕まらないから…



…ちっ

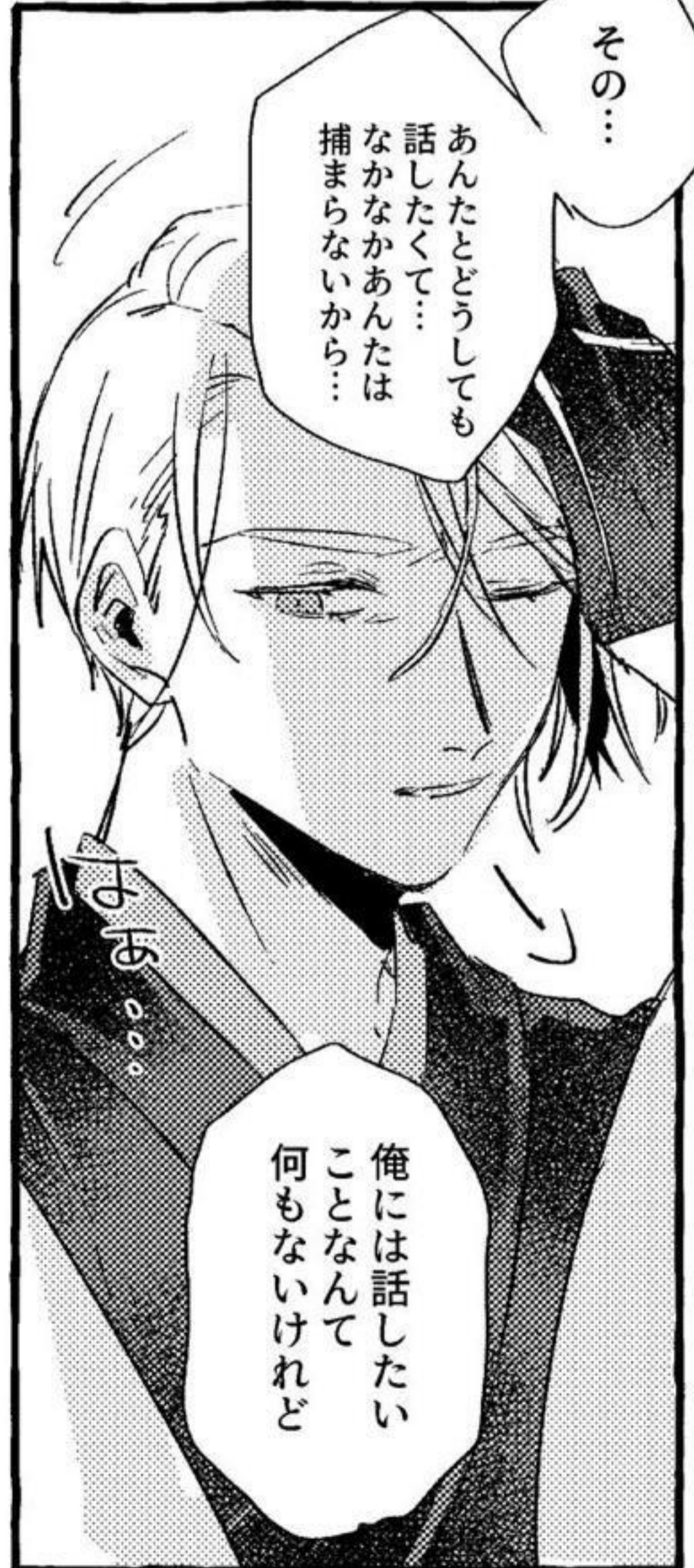
…話だけなら
聞いてやる

ほんとか?!



せっかく
見逃して
やってたのに

俺には話したい
ことなんて
何もないけれど



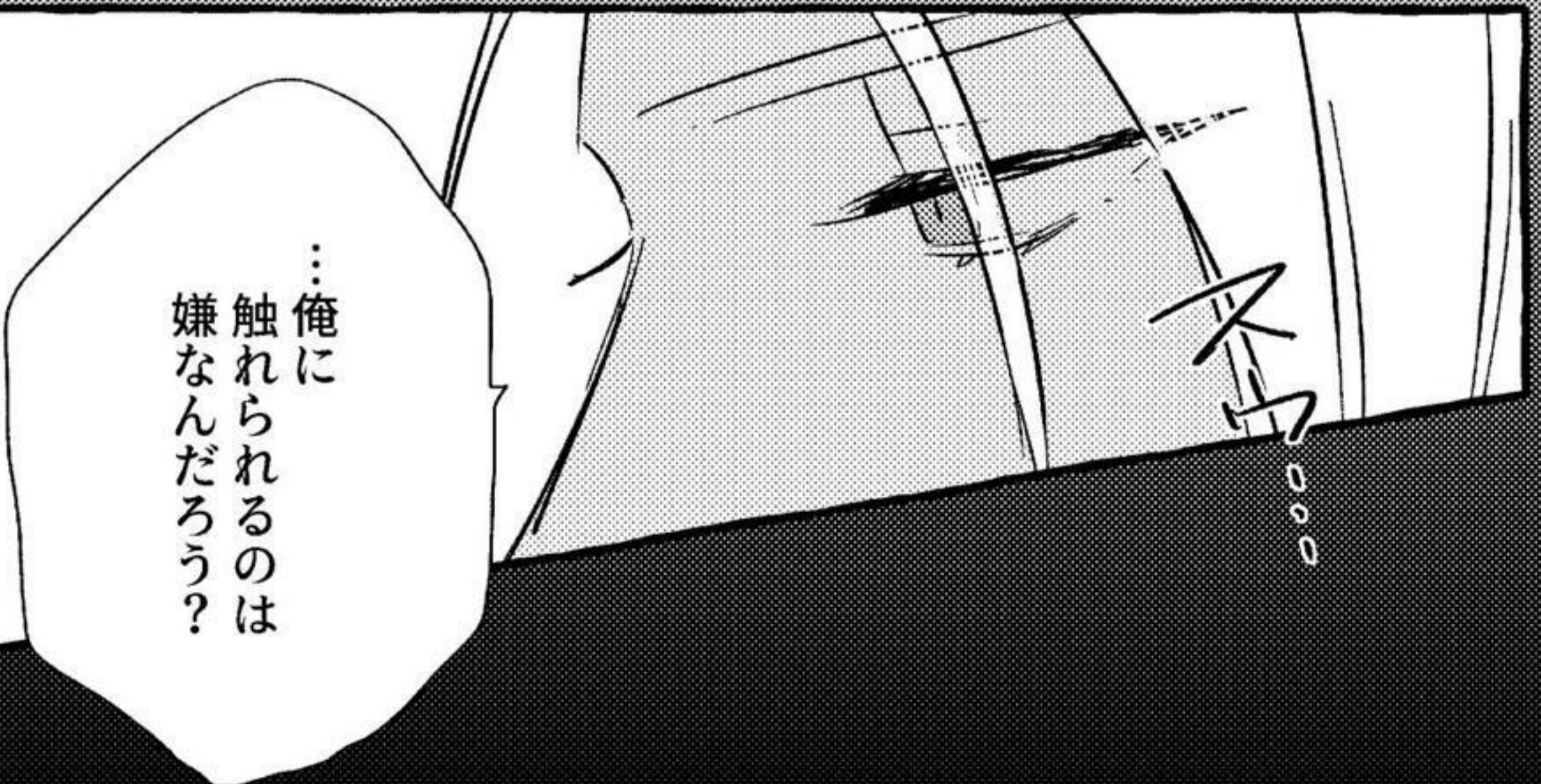




カッ

カッ

ん
ん
ん




…俺に
触れられるのは
嫌なんだろう？


カッ
カッ
カッ




お前を無理矢理
犯そうとした男だ




また頬を張るか？
それとも刀解でも
申請してみるか？



…あんたは



一つ
思い違いを
している



…は？



ずっと

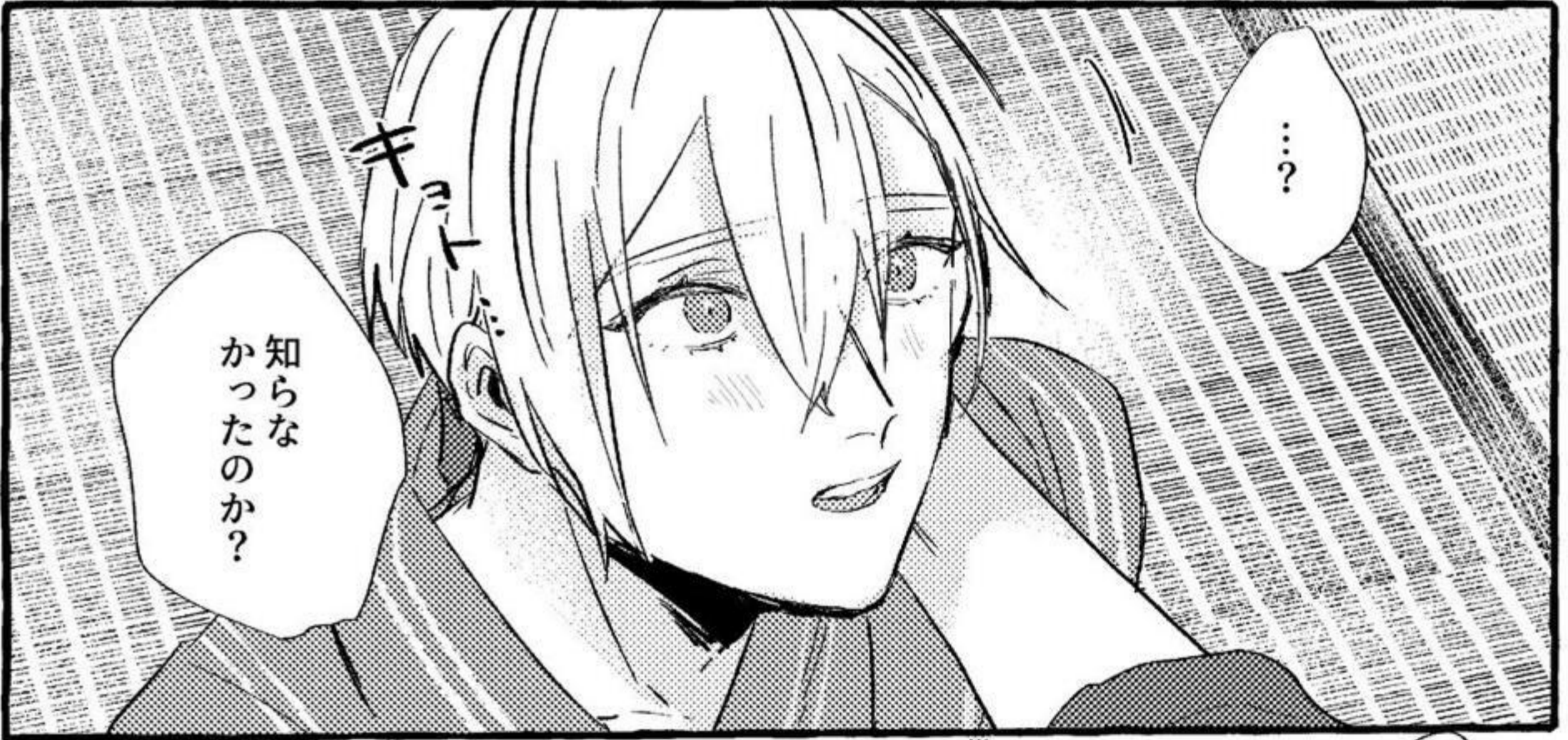


あなたの
ものだ

嫌だったのは
あなたが
あの呪いを
忘れた上で

憎い俺を
辱めるために
やっているのかと
思っ……

……





...っあ

...脱がしてもいい?



別に

あなたの

好きにすればいい

!

じいっ

いっ



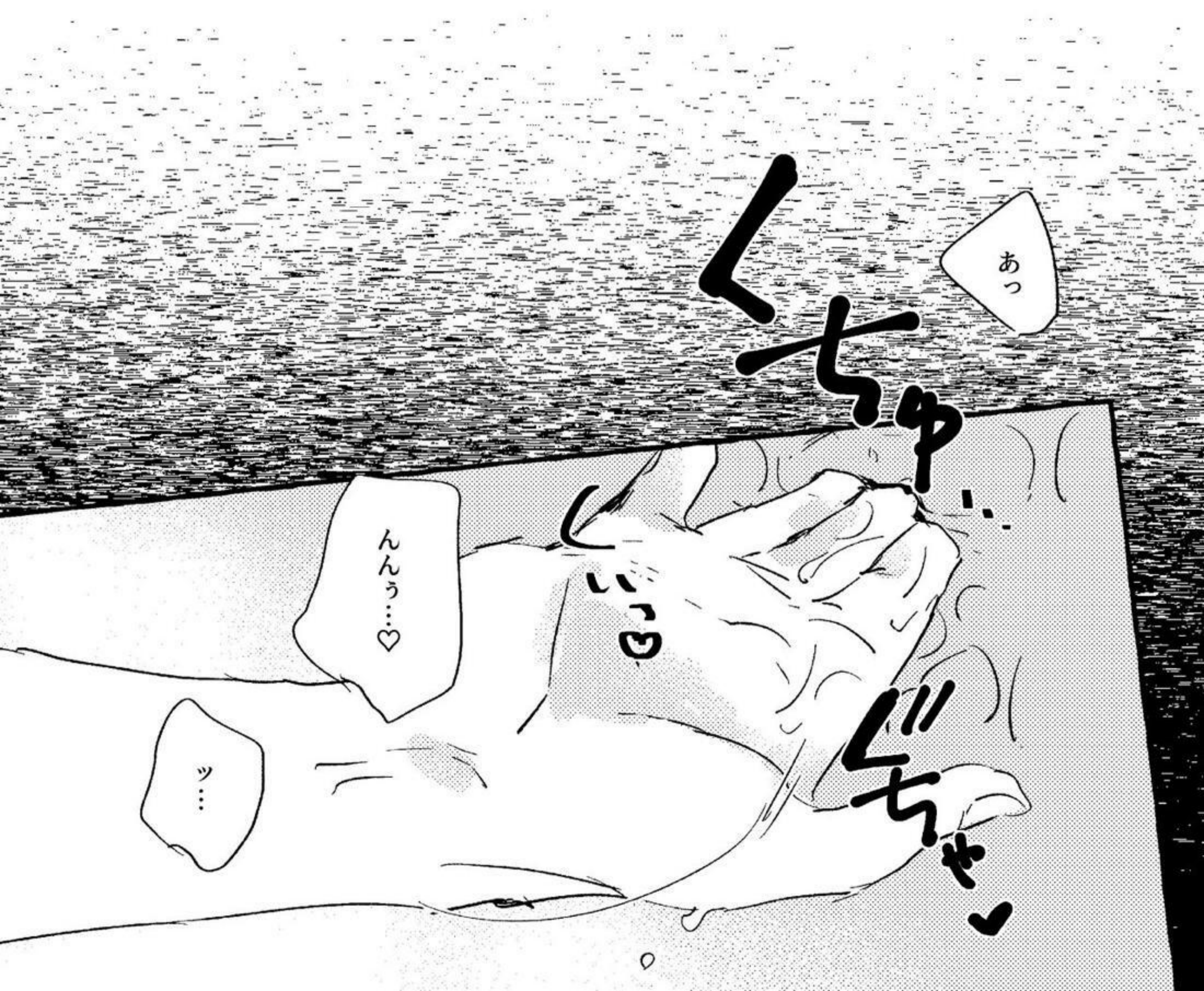
もう脱がしてさ

ださう...

ふふ

いっ

いっ





でもお前に
痛みを与えたくは
ないからね



ほんかあ…

もう
大丈夫
だから…



わっ?!

痛くても良い

…から

早く
来てくれ



俺が我慢
してるのに

それを無為に
するなよ...



というか
あんた
勃ってる
じゃないか...

ギン

勃たない方が
無理じゃない？

は、はあ...



...痛くないように
するから



ん...



来てくれ...

ほんか...

...ああ



俺が
挿入るところ



しっかり
見てて



あ...



おっ

ちゅ...♡

ちゅ...



あ...♡

あ...♡

あ...♡

あ...

本科のが...

このままじゃ
専入って...♡

ニギハヤク

あ...♡

あ...♡

あ...♡





国広

…ねえ

もう動いて
いいかな

ひろま



……

ひろま

もう
大丈夫だ

…ん





っああ

うん
良かった
痛くはない
みたいだね

う

あ…っ…♡

あ♡

あ♡

う♡



♡

♡

出すよ…っ

びび





お前はまだ
自由だったのね

あ呪いさえ
なければ

…可哀想に



ほんか…



ほう



それは違うぞ

うわ?!
お前起きてる
なら言えよ!!



何?
なあ
本科…



おれは
ほんかの
ものだ



そう…

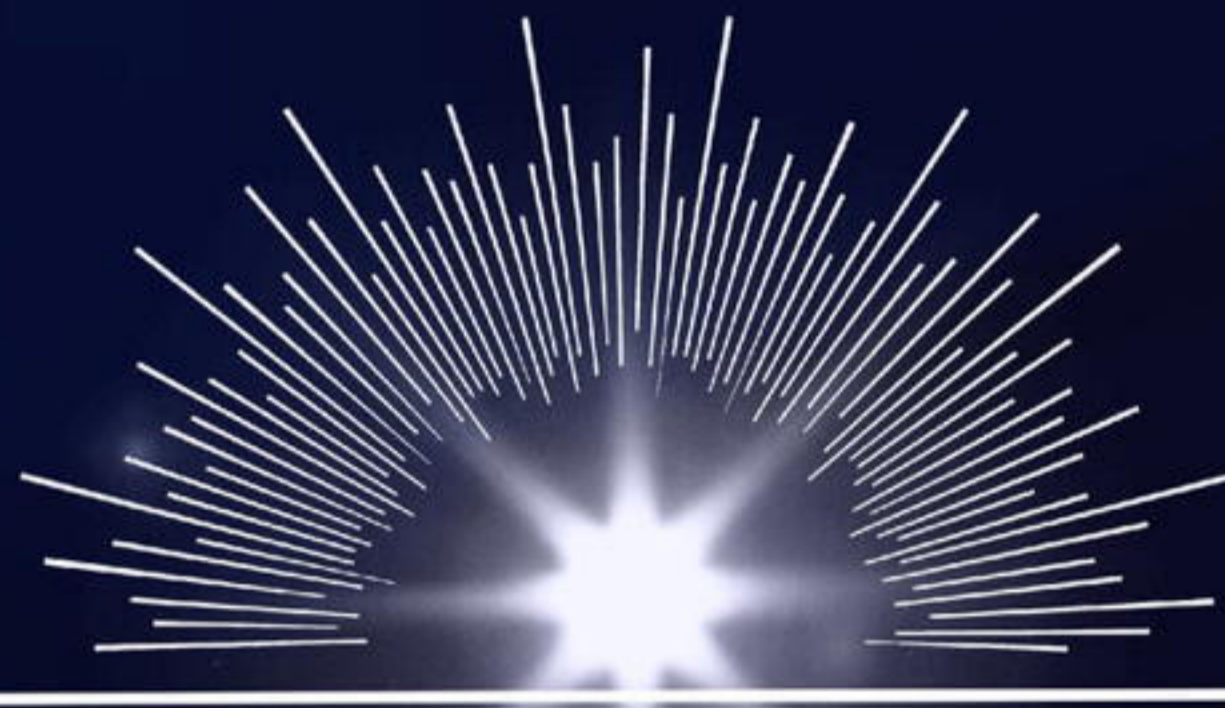


…確かに
あの時の俺は
幼かったが

意味も分からず
誓った訳ではない
俺の意志で
言ったことだ

ふうふふ





令和四年十月十六日再版
令和三年十二月十二日初版
紺色堂

「あの日かけた呪いを覚えているか」